

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所うきわく		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の丁寧さ	利用児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援を重視し、日々の様子を踏まえながら柔軟に支援内容を調整している。	支援記録の充実と評価の可視化を進めより質の高い個別支援へと強化していく。
2	職員間の連携とチーム支援体制	職員間での情報共有を密に行い特定の職員に支援が偏らない体制を整えています。	定期的な振り返りやケース検討の機会を増やしより専門性の高いチーム支援へと充実を図ります。
3	多様な療育活動の実施	活動が固定化しないように多種多様な療育活動をプログラムするようにしている。	活動の目的や効果をより明確にし発達課題に応じた体系的な療育への発展を目指します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性向上の継続的な体制作り	支援は日々丁寧に行っているが、専門性向上に向けた体系的な体制の整備が十分とはいえない。日常業務を優先する中で計画的な研修機会の確保など参加調整が後回しになりやすい事が要因と考えられる。	支援研修において研修計画を作成する。研修内容を職員間で共有する仕組みを整える。
2	支援内容の見える化	日々の様子の報告が中心となり支援の評価の共有にまで十分時間を使えない。	個別支援計画の定期的な振り返りを実施していく。
3	業務の効率化	支援対応に時間を要する場面も多く記録方法については現在アプリ導入を検討中。	現在アプリ導入するなど改善に向けている。